



2019年4月20日発行 会報第969号

### 今週のプログラム

(2019年4月20日 第969回例会)

伊勢神宮参拝 (お花見移動例会)

担当: 渡邊 了允職業奉仕委員長

### 次週のプログラム

(2019年4月25日 第970回例会)

ファイアーサイドミーティング

担当: 藤田 芳浩会長

### 第968回例会 (2019年4月11日) の記録

#### <会長の時間>

藤田 芳浩会長

皆様 こんにちは、お元気ですか！本日はガバナー補佐 松尾 浩様、ガバナー補佐エレクト古城 紀雄様お二人に今年度最終の訪問を頂きました。後ほどご挨拶をお願い致します。さて、4月7日(日)国際ロータリー第2660地区 吹田ロータリークラブ創立60周年記念式典・祝賀会に水島 洋幹事と共に参加いたしましたのでご報告致します。吹田RCは、大阪RCをスポンサークラブとして1958年(昭和33年)12月18日に創立されています。当日頂きました「記念式典・祝賀会プログラム」と講演資料(2018-19年度国際ロータリー会長バリー・ラシン氏並びに姉妹クラブの台湾 新竹東区ロータリークラブ 会長 張氏の挨拶文及び4月18日(木)オープン例会案内)を回覧いたします。次に4月13日(土)は、「2019-20年度のための地区研修・協議会」が大阪国際会議場で開催されます。12:00受付12:30より第一部本会議で四宮 孝郎ガバナーエレクトから次年度RI会長テーマ及び地区方針のお話があります。第二部は、15:15から部門別協議会となります。会長部門、幹事・クラブ研修リーダー部門、クラブ奉仕・SAA部門、職業奉仕部門、社会奉仕・国際奉仕部門、青少年奉仕部門、ロータリー財団部門、米山奨学部門の各部門17:00までの予定です。ご担当の会員には出席宜しくお願い致します。さて、次週は皆さまお待ちかねの「神宮参拝・伊勢旅行」です。18日(木)は20日(土)21日(日)の移動例会に変更致します。本日卓話でこの移動例会をお世話頂いている渡邊会員からご説明が有ると思いますので、集合場所・日程表等ご確認宜しくお願い致します。最後に新しい例会場確保が必要となります。先週の理事会で同様の議題があった後に、柳原 健治会員からご連絡があり、昨日、水島 洋幹事と3名で現地を訪問しご担当の方と打ち合わせを致しました。しかしながらまだまだ具体的な条件等は未確定です。そこで4月25日例会の「ファイアーサイドミーティング(会長主催③)」では、今後の様々な要件について皆様との「意見交換会」としたいと考えております。例会場問題だけでなく、様々な要件について自由闊達なご意見が頂ければと思います。次週以降、主な要件についてまとめまして、事前にメールでご連絡致しますので「今後についての意見交換会」を宜しくお願い致します。

＜お客様＞ 松尾 浩ガバナー補佐（高槻 RC）  
古城 紀雄ガバナー補佐エレクト（千里 RC）

＜出席報告＞ 岸上 和典出席担当代理  
会員数（内出席免除会員1名） 20名  
本日の出席者数 15名  
（内出席免除会員1名 名誉会員0名）  
本日の出席率 75.00%  
前々回（3月28日）の修正出席率 85.00%  
3月のホームクラブ出席率 76.67%  
3月の平均出席率 85.00%

＜ロータリー・ソング＞ 全会員  
♪それこそロータリー♪  
＜本日のピアノ曲＞ 近藤 美里さん  
1. 桜 |  
2. Take The A Train  
3. Alone Again |

＜幹事報告＞ 水島 洋幹事  
1. 6月18日開催の千里 RC 主催社会奉仕講演に参加される方は出欠回覧表にご記入ください。  
当日出席者にはアテンダンスカードが発行されます。  
2. 地区協議会開催場所・日時・当日スケジュールを最終回覧致しますのでご確認ください。  
3. 西本詩子会員・高尾会員より近況報告のメールを頂きましたので回覧致します。  
4/4 理事会報告：ホテル阪急エキスポパーク営業終了に伴う代替例会場の情報収集のお願い等

＜SAA 報告＞ 岸上 和典 SAA

※スマイルボックス

黒川会員 渡邊会員の卓話を楽しみにしています。  
相原・山下会員 コメント無し

※ロータリー財団

黒川会員 令和の「れい」は「令」これ？  
山下・渡邊会員 コメント無し

※米山記念奨学会

黒川会員 令和天皇に期待しています。  
山下・山本雅会員 コメント無し

※ラオス基金

黒川会員 土日と富山ですが、寒いのかな？  
山下・山田会員 コメント無し

※メイプル基金

黒川会員 宮家邦彦さんの講演を拝聴しました。  
山本(友)会員 渡邊会員、今日もよろしく！  
水本会員 今夜からマスターズ開幕！寝不足になります。  
相原・山下会員 コメント無し |

<卓話>

「神宮と天皇」

担当 渡邊 了允会員

**神宮の歴史** 「お伊勢さん」「大神宮さん」と親しく呼ばれる伊勢神宮は、正式には「神宮」といいます。内宮こと**皇大神宮**は皇室の御祖先であり、太陽にもたとえられる**天照大御神さま**をおまつりし、全国より崇敬を集めています。

内宮は、約2000年、外宮は約1500年の歴史があります。最初、天照大御神さまは奈良の都、皇居内でおまつりされていましたが、第10代崇神（すじん）天皇の時代に疫病が流行って多くの人々が亡くなったことをきっかけに、疫病を鎮めるべくして皇居の外の大和国の笠縫邑（かさぬいむら）正確な位置は不明ですが、現在の奈良県桜井市付近に祀られました。そして更に理想的な鎮座地を求め、大和から近江、美濃、尾張の国を經由して、第11代垂仁（すいにん）天皇の皇女である倭姫命（やまとひめのみこと）が伊勢の国へ辿り着いたと言われていています。その間、なんと90年です。まともな交通手段が無かった時代でありながらも、これだけ時間を掛け祀る場所を探すほど崇められている神様なのです。この間、一時的に祀られた神社や場所は、今でも**元伊勢**として名前が残っています。こうして倭姫命が辿り着いた五十鈴川上流に祠（やしろ）を建てて祀り、磯宮（いそのみや）と称したのが、現在の皇大神宮の始まりとなります。

内宮（ないくう）は、第11代垂仁天皇（すいにんてんのう）在位26年の時に創建されました。ちなみに垂仁天皇の在位は垂仁天皇元年から垂仁天皇99年、つまり在位99年。

一方、外宮こと**豊受大神宮**に祀られている**豊受大御神さま**は、食物や穀物を司る女神です。御饌都神（みけつかみ）とも呼ばれ、御饌（みけ）、つまり神社や神棚に供えるお供え物を司る神様とされています。また、衣食住をはじめとする、ありとあらゆる産業の神様としても伝えられています。豊受大御神さまが外宮に祀られたのは、天照大御神さまが内宮に祀られてから500年もの時を経た第21代雄略（ゆうりやく）天皇在位22年の時に創建されました。（西暦480年辺りになります。）豊受大神宮に関する祭儀、殿舎、鎮座由来、撰社、などを記し報告した書物「止由気宮儀式帳（とゆけぐうぎしきちょう）」によると、雄略天皇の夢の中に天照大御神さまが現れ、次の様に伝えました。

「独りでは安心して食事できないため、丹波の国の豊受大御神を御饌都神として近くに呼び寄せるように。」こうして豊受大御神さまは、丹波国の比沼の真奈井原（まないはら）より、内宮からほど近い山田の原の地へ遷座しました。その時に建てられたのが豊受大神宮になります。それ以来1500年、外宮では毎日朝夕には、神様にお食事を供えるという**日別朝夕大御饌祭**（ひごとあさゆうおおみけさい）を行っています。神宮のお祭りは、「外宮先祭」といって、まず外宮から行われます。外宮の豊受大御神さまは天照大御神さまのお食事を司る神さまですので、内宮に先だって神饌と呼ばれる神さまのお食事をお供えします。神宮では年間千数百回ものお祭りが行われていますが、中でも神宮の最大のお祭りは式年遷宮です。神宮には内宮・外宮ともそれぞれ東と西に同じ広さの敷地があり、20年に一度同じ形の御社殿を交互に新しく造り替え、神様に新しい社殿にお遷りいただく神事で「大神嘗祭」とも呼ばれています。神宮の社殿は、社殿のお屋根などに違いがあります。内宮は千木が内削ぎ、鯉木が偶数（10本）、外宮は千木が外削ぎ、鯉木が奇数（9本）です。詳しい理由はわかりませんが、鯉木の数は、内宮より約500年後に鎮座した外宮が、内宮に遠慮して1本減らされたと考えられます。別宮以下、社殿のあるお社も正宮にならい同様な違いがあります。撰社（43社）は『延喜神名式』に、末社（24社）は『皇太神宮儀式帳』や『止由気宮儀式帳』に記載されているお社です。神宮は、別宮、撰社、末社、所管社を含めた125社からなっています。掘立柱に萱葺き屋根という素朴な檜造りで歳月を重ねると傷んでいきます。そこで、式年遷宮によって社殿や御装束・神宝（714種・1576点）すべてを造り替え新調します。**伊勢神宮の正式参拝の仕方** 内宮へ向かうと、鳥居の向こうに、美しい五十鈴川の流れが目に見え込んできます。宇治橋を渡って右側には、五十鈴川の御手洗場があり、こちらで心身を清めてから参拝します。この五十鈴川には、**御裳濯**（みもすそ）川という別名が付けられています。その名の由来は、大和の国から天照大御神の鎮座の地を探した倭姫命が、この川で衣の裾を濯いだことから付けられたそうです。

<編集後記・追加情報・チョット一言・ライブラリー・etc>

神話の時代より、豊かな自然と神々の恩恵に心の目で見て感じ、深い安らぎに包まれる日本人の心のふるさと「伊勢神宮」平成から令和へ 感謝と祈りの平成最後のお伊勢参りに出かけましょう。 （文責 渡邊了允）